

大切な人に
紹介したくなる
思い出づくりを

すがわら
菅原ひとみさん

民宿沼田屋 女将

昭和52年、岩手県久慈市生まれ。
東日本大震災をきっかけにご主人の家業を継ぐため陸前高田市に移住。
唼酒師の資格をもつ女将として民宿沼田屋で憩いの時間を提供しています。

『みちのく潮風トレイル』という言葉は初めて聞いたのは、全線開通前、仙台のバーに友人といるときでした。みちのく潮風トレイルに携わっているという一人の女性客からたくさん話を聞き、素敵な取り組みが地元で行われるのだとワクワクしながら陸前高田に戻りました。

まだ陸前高田にハイカーが少なかった開通前後の時期に、大きなザックを背負った宿泊客が来ると「登山ですか？」ではなく「トレイルですか？」と声をかけたものです。トレイルという存在を知っている民宿がハイカーたちには新鮮だったのか、とても喜んでくれました。もっと自分がトレイルの話ができるようになってハイカーに喜んでもらいたい、そんな思いで私自身もトレイルに夢中になりました。自分で近場のルートを歩いたり、館内にトレイル紹介コーナーを作ったり、雨で濡れた靴を乾かすシューズドライヤーを導入したりと、ハイカーに喜ばれることは何かな、とハイカーとのふれあいの中で探りました。

初めてトレイルを知ったあの時、数十年先にはどれだけ多くのハイカーが訪れるようになるのかなと想像を膨らませていましたが、全線開通からたった5年でこれだけの注目度。ハイカーが増えていると実感しています。さらに今ではハイカーを支えるために市町村をまたいでサポーター同士が連携することも多くなりました。

みちのく潮風トレイルが繋ぐご縁を、これからも大切にしながら、ハイカーがほっとできる空間を提供できるよう頑張っていきたいです。



館内に設置されているトレイル情報コーナーには全線のマップが用意されています。また、ハイカー向けの宿泊プランがあり、ハイカーに嬉しいプレゼントが用意されています。